

## 子育て支援施設(ちゃ☆ちゃ☆ちゃ)の空間実験の概要

子育て支援施設のコーナー配置と使われ方の空間実験 その1

子育て支援 コーナー	親子 空間実験	ワンルーム
---------------	------------	-------

正会員	○中園	真人*
準会員	北川	沙耶**
正会員	伊藤	優里***
正会員	岡崎	紗矢****
正会員	山本	幸子*****

## 1. 序論

2007年度より「地域子育て支援拠点事業」が実施され、主に乳幼児とその親が集い交流する場所として保育所や公共施設の空きスペース・空き民家等を利用した子育て支援施設の設置が進められている。室内設備としては事業実施要綱に「授乳コーナー、流し台、ベビーベッド、遊具その他乳幼児を連れて利用しても差し支えないような設備を有すること」と規定されているが、具体的な遊びの場については定められていない。3歳未満児が過ごす施設として一般的な保育所では「コーナー保育」の考えのもと、ままごとやブロックなどの場所を定め、乳幼児が自ら遊びを選ぶことができるように考慮しており、子育て支援施設においてもコーナーを設定する傾向がみられる。しかし、子育て支援施設では発達段階の異なる乳幼児と親が同一空間で過ごすこと、乳幼児はコーナー設定の意図とは異なる遊びを行う場合があることから、遊びの観察によりコーナー同士の関連付けやコーナー配置の見直しを行うことが重要である。

コーナーの使われ方を論じた研究には、保育空間のセッティングと乳幼児の行為に関する研究<sup>1)</sup>、自由遊びにおける乳幼児の遊び方と規模、コーナーの型に関する研究<sup>2)</sup>等があるが、いずれも年齢別保育室のコーナーでの遊びを統計的に分析したもので、年齢の異なる乳幼児と親が同一に過ごす空間でのコーナー配置と使われ方の関係を論じた研究は少ない。

そこで本研究では、山口市のワンルーム型子育て支援施設に調査協力を依頼し、施設独自のコーナー配置における使われ方の課題を整理した上で、新たに2パターンのコーナー配置を設定して空間実験を行い、コーナー配置による親子の行動の変化を明らかにすることを目的とする。本論では、実験前後でのコーナー配置の変更点の整理及び、親子の利用形態の傾向を示す。

## 2. 調査概要

調査対象施設は、山口市にある「子育て支援交流広場 ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」(以下ちゃ☆ちゃ☆ちゃ)である。施設は市の中心市街地に立地した山口市児童センターの2階に設置され、周辺には地域交流センターや学童保育施設などの公共施設がある(図1)。敷地内ランドの一部

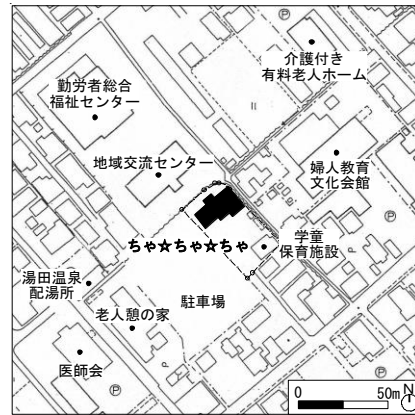


図1 敷地周辺図



写真1 施設外観



写真2 駐車場

を利用し駐車場も設けられているため、車での来所も可能となっている。

調査は、空間実験前後の計3パターンのコーナー配置にて使われ方調査を実施した。また空間実験を行う際には、施設スタッフの協力のもと家具及びコーナー配置を変更した。使われ方調査は利用者(親子)及びスタッフを対象とし、終日10分間隔で平面図に滞在場所・動線・行動内容の記録及びデジタルカメラ・ビデオカメラによる撮影を行った。調査期間は実験前が2014年9月2,3,5日、実験1が2014年11月11,12,14日、実験2が2014年11月19,20,22日のそれぞれ3日間である。

## 3. 空間実験前後のコーナー配置の特徴

## 3.1 空間実験前

施設は、旧図書室を改修して全面フローリング仕上げのプレイルームとし、その西側には流し台のある授乳室が整備されている(写真8)。空間実験前は、畳マットをプレイルーム南側と東側の棚に接するように計18枚敷き、空間を大きく2区分している(図2-左)。畳スペースにはテーブルのみ配置され、周囲の棚にはままごと道具等の玩具や絵本が並べられているが種類の分類はされていない(図3,写真3)。フローリングスペースには遊び場として棚や壁で囲まれたままごとコーナー(写真7)、島型のお絵描きコーナー、複数玩具のコーナー(写真4)が設定され、事務コーナー前にはカートや乗り物が置かれている(写真6)。遊びコーナー以外として、入口左手には受

実験前	実験 1 (畳スペース拡充型)	実験 2 (フローリングスペース拡充型)
		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・畳マットが南側と東側の棚に接するように縦 6 枚、横 3 枚敷かれている。</li> <li>・畳スペースに接する棚には絵本やボールなどの玩具、ままごととコーナーが配置されている。例：絵本・複数玩具コーナー（写真 3）</li> <li>・フローリングスペースには中央にお絵描きとままごととコーナーを設置。例：ままごと①コーナー（写真 7）</li> <li>・畳スペース横に荷物置き場とおむつ交換台が設けられている。例：荷物置き場（写真 5）</li> <li>・事務コーナー前にカートと乗り物が置かれている。例：乗り物コーナー（写真 6）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物置き場とおむつ交換台を受付奥に移動。</li> <li>・絵本を畳の隅にまとめ、絵本コーナーを拡張。例：絵本コーナー（写真 10）</li> <li>・棚の玩具を種類ごとに整理し、ブロックコーナーを新設。例：ブロックコーナー（写真 9）</li> <li>・島型のままごととコーナーを設定。例：ままごと(島)コーナー(写真 11)</li> <li>・授乳室前にテーブルセットを設置。例：テーブルセット(写真 12)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カート・乗り物を授乳室前に配置し、事務コーナー前までブロックコーナーを拡張。例：ブロックコーナー(写真 13)</li> <li>・ブロックコーナーにマットを敷く</li> <li>・テーブルセットをお絵描きコーナー横に移動。例：お絵描き・テーブルセット(写真 16)</li> <li>・喫茶コーナーの前にままごととコーナーをまとめ、その前面を乗り物広場として設定。例：ままごと①コーナー(写真 14)</li> </ul>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="137 1326 328 1469">  <p>写真 3 絵本・複数玩具 コーナー</p> </div> <div data-bbox="335 1326 526 1469">  <p>写真 4 複数玩具 コーナー</p> </div> <div data-bbox="533 1326 702 1469">  <p>写真 5 荷物置き場</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="737 1326 896 1469">  <p>写真 9 ブロック コーナー</p> </div> <div data-bbox="903 1326 1062 1469">  <p>写真 10 絵本コーナー</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1107 1326 1267 1469">  <p>写真 13 ブロック コーナー</p> </div> <div data-bbox="1273 1326 1433 1469">  <p>写真 14 ままごと① コーナー</p> </div> </div>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="137 1662 328 1805">  <p>写真 6 乗り物コーナー</p> </div> <div data-bbox="335 1662 526 1805">  <p>写真 7 ままごと① コーナー</p> </div> <div data-bbox="533 1662 702 1805">  <p>写真 8 授乳室</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="737 1662 896 1805">  <p>写真 11 ままごと(島) コーナー</p> </div> <div data-bbox="903 1662 1062 1805">  <p>写真 12 テーブル セット</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1107 1662 1267 1805">  <p>写真 15 荷物置き場</p> </div> <div data-bbox="1273 1662 1433 1805">  <p>写真 16 お絵描き・テ ーブルセット</p> </div> </div>

図 2 各コーナー配置

付、その奥には親対象の喫茶コーナーがあり、畳スペース西側には荷物置き場とおむつ交換台（写真 5）が設置されている。

### 3.2 空間実験 1（畳スペース拡充型）

空間実験では、実験前の床仕上げを基に、畳マットの位置及び枚数を変更して空間を区分した上で、各コーナーを設定した。空間実験 1 では、まず畳マットをプレイルーム南側全面に配置し、枚数も縦 5 枚（一部 4 枚）、横 4 枚の計 19 枚に増やした（図 2-中央）。これにより、プレイルーム北側のフローリングスペースと明確に区分された。畳マットの配置変更に伴い、喫茶コーナーを事務コーナー横に移動した上で、荷物置き場・おむつ交換台を受付奥のスペースに変更し、受付後のスムーズな荷物の片づけを促すとともに、遊びスペースとの区別を図った（写真 15）。

畳スペースは乳児スペースと位置づけ、周囲の棚には知育玩具や音のなる玩具等を中心に種類別に配置した（図 4）。また、実験前には他の玩具と同一の場所の配置されていた絵本は、施設南側の隅に新たに設置した L 型の本棚に移動して他の遊びと区分し、丸テーブルも設置して静かに読み聞かせや読書を行うことができるよう配慮した（写真 10）。

フローリングスペースは、中央に配置されていたお絵描きテーブルを棚前に移動し、棚にはブロックやお絵描きに用いる道具をまとめてコーナーとした（写真 9）。そして、ままごととハウス（写真 11）を喫茶コーナーと離してフローリング中央に配置することで、周囲に乗り物遊びを行うことのできるスペースを設けた。また実験前には授乳室とプレイルームとの間には仕切りがなく、乗り物遊びが授乳室にまで及ぶ光景がよく見られた。そこで授乳室への侵入防止策として授乳室前にマットを敷き、テーブルセットを配置して、その横にままごととハウスと併用できるようにままごとコーナーを新設した（写真 12）。

### 3.3 空間実験 2（フローリングスペース拡充型）

空間実験 1 から実験 2 への変更として、まず畳マットを 1 列分減らし、縦 4 枚、横 4 枚の計 16 枚とすることで、フローリングスペースをより広く確保した（図 2-右）。北側の荷物置き場等の配置については空間実験 1 と同様である。畳スペースの遊びコーナーは、空間実験 1 を基本的に配置しているが、畳スペースでの午睡マットとベビーチェアの利用が少なかったため、荷物置き場の棚の一角に移動し乳幼児向けの玩具を東側の隅の棚にも配置した（図 5）。

フローリングスペースでは、ままごととハウスと、テーブルセット横のままごとコーナーを 1 ヶ所にまとめて喫茶コーナーの前に配置した（写真 14）。そして、ままごとコーナーと畳スペースの間に空間を作って乗り物スペースとし、カートや乗り物を授乳室の前へと移動した。ま

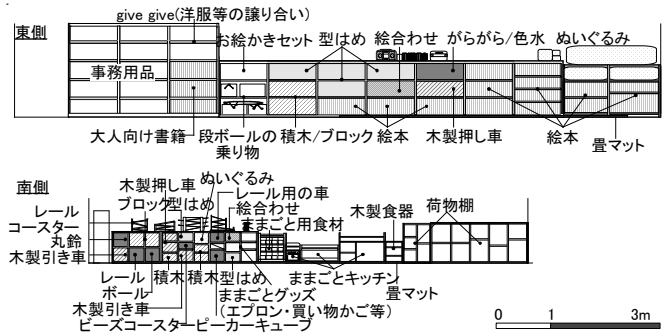


図 3 実験前玩具詳細図

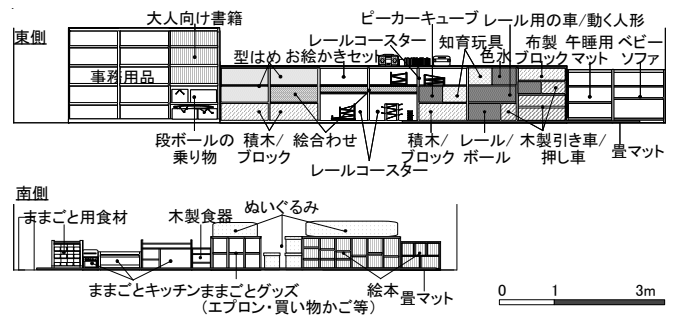


図 4 実験 1 玩具詳細図

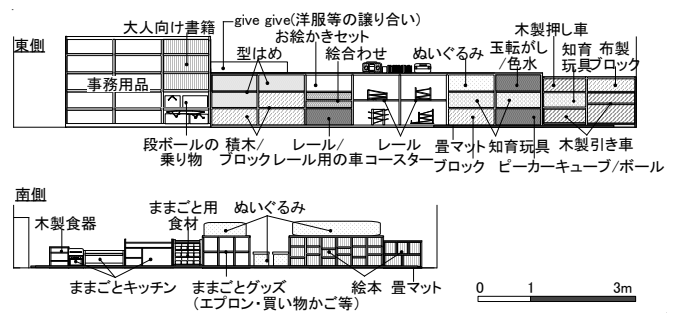


図 5 実験 2 玩具詳細図

た、実験前・実験 1 での使われ方調査時にカートにぬいぐるみを乗せて遊ぶ光景も見られたため、その横にぬいぐるみの入った箱を配置した。ブロックコーナーは、空間実験 1 と同じ場所に配置してあるが、事務スペース前まで拡張するとともに、利用を促すために棚の前にマットを敷いた（写真 13）。テーブルセットは、東側の棚の前に移動することで、棚の玩具を取り出しテーブルに広げて遊ぶことができるようにした（写真 16）。

## 4. 施設の利用形態

調査期間中の利用者及びスタッフ人数を表 1 に示す。スタッフは、午前・午後 1 名ずつと終日 1 名が勤務している。実験前の利用者は 1 日に平均 27 組が来所し、親・子合わせて 60 名が利用している。また兄弟での利用もみられたため、親よりも乳幼児の人数の方が多く、平均 32 名が来所している。空間実験 1 での利用者は 1 日に平均 19 組が来所し、親・子合わせて 41 名が利用してい

表 1 調査期間中の利用者及びスタッフ人数

調査日	利用者								利用者数 合計	スタッフ				スタッフ数 合計
	組数	親	親子				その他	勤務			勤務外			
			0歳	1歳	2,3歳	4歳以上		午前		午後		終日		
実験前	9月2日	34	34	14	13	12	1	1	75	1	1	1	0	3
	9月3日	26	26	10	12	7	1	0	56	1	1	1	0	3
	9月5日	23	23	12	8	6	0	0	49	1	1	1	0	3
平均	27.7	27.7	12.0	11.0	8.3	0.7	0.3	60.0	1.0	1.0	1.0	0.0	3.0	
実験1	11月11日	21	21	6	8	9	1	0	45	1	1	1	0	3
	11月12日	16	16	5	7	6	1	0	35	1	1	1	0	3
	11月14日	20	20	7	7	8	1	0	43	1	1	1	1	4
平均	19.0	19.0	6.0	7.3	7.7	1.0	0.0	41.0	1.0	1.0	1.0	0.3	3.3	
実験2	11月19日	25	25	9	11	7	0	0	52	1	1	1	0	3
	11月20日	19	19	2	11	6	0	0	38	1	1	1	0	3
	11月22日	9	9	2	3	5	2	0	21	1	1	1	0	3
平均	17.7	17.7	4.3	8.3	6.0	0.7	0.0	37.0	1.0	1.0	1.0	0.0	3.0	
全体平均	21.4	21.4	7.4	8.9	7.3	0.8	0.1	46.0	1.0	1.0	1.0	0.1	3.1	

注)11月19日は、10:00～11:00の間に保健師による身体測定と発育相談が実施された。

表 2 利用者滞在パターン

Type	滞在パターン			平均滞在時間								
				実験前			実験1			実験2		
	午前	昼食	午後	9月2日	9月3日	9月5日	11月11日	11月12日	11月14日	11月19日	11月20日	11月22日
1				1:03(12)	1:04(15)	1:02(7)	1:07(9)	1:09(11)	1:12(2)	1:20(9)	1:13(5)	0
2				1:21(13)	1:07(4)	1:21(12)	1:32(8)	1:33(4)	1:38(17)	1:49(8)	1:40(6)	1:21(5)
3				3:19(9)	3:43(6)	5:15(2)	2:01(4)	0	5:36(1)	2:27(6)	3:19(8)	4:31(3)
4				0	0:23(1)	0:17(2)	0	0:26(1)	0	0	0	0
5				0	0	0	0	0	0	2:22(2)	0	3:55(1)

注)図中には滞在パターン毎の親子の平均滞在時間とその組数を示す。

た。空間実験 2 での利用組数は、9 組から 25 組とばらつきがみられた。実験前・実験 1 と同様に、兄弟での利用がみられたため、親よりも乳幼児の人数の方が多い。

次に、利用者の滞在パターンを表 2 に示す。滞在パターンは、①午前滞在、②午後滞在、③昼食前から午後にかけて滞在、④短時間滞在、⑤昼食時以外滞在の 5 つに区分された。実験前・実験 1 では昼食を施設でとらないタイプ 1・2 の利用者が全体の 8 割を占め、1 時間から 1 時間 30 分程度滞在していた。実験前・実験 1 よりは少ないものの、実験 2 でもこのタイプは約 6 割を占めていた。また、昼食を施設でとるタイプ 3 の利用者は、実験前は全体の 2 割おり、3～5 時間と長時間滞在していたのに対し、実験 1 では合計 5 組と少なく、滞在時間も 2 時間前後と実験前と比較すると短かった。しかし実験 2 では全体の約 4 割みられ、平均 3 時間 30 分程度滞在していた。

参考文献

- 1) 井本佐保里、定行まり子、小池孝子：保育空間のセッティングと子どもの行為に関する研究，日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1 分冊，pp.459-460，2005.9
- 2) 山田恵美、佐藤将之、山田あすか：自由遊びにおける園児の活動規模と遊びの種類およびコーナーの型に関する研究，日本建築学会学術系論文集，第 74 巻，第 637 号，pp.549-557，2009.3

- 3) 山本幸子、伊藤優里、中園真人：山口市における「地域型つどいの広場設置助成事業」の創設と展開－既存建築を活用した子育て支援施設整備に関する研究－，日本建築学会計画系論文集，第 77 巻 第 675 号，pp.1145－1153，2012.5
- 4) 伊藤優里，岡崎紗矢，山本幸子，中園真人：ワンルーム型子育て支援施設の実験前の使われ方－子育て支援施設におけるコーナー配置の空間実験 その 1－，日本建築学会中国支部研究報告集 第 38 巻，pp.561-564，2015.3
- 5) 岡崎紗矢，伊藤優里，山本幸子，中園真人：畳スペース拡充型コーナー配置と使われ方－子育て支援施設におけるコーナー配置の空間実験 その 2－，日本建築学会中国支部研究報告集 第 38 巻，pp.565-568，2015.3
- 6) 岡崎紗矢，伊藤優里，山本幸子，中園真人：フローリングスペース拡充型コーナー配置と使われ方－子育て支援施設におけるコーナー配置の空間実験 その 3－，日本建築学会中国支部研究報告集 第 38 巻，pp.569-572，2015.3

\* 山口大学大学院創成科学研究科 教授・工博  
 \*\* 山口大学工学部感性デザイン工学科 学部生  
 \*\*\* 山口大学大学院理工学研究科 博士後期課程  
 \*\*\*\* 山口大学大学院理工学研究科 修士課程  
 \*\*\*\*\* 筑波大学システム情報系 助教・博士(工学)

\* Prof., Graduate School of Sciences and Tec. for Innovation, Yamaguchi Univ., Dr. Eng.  
 \*\* Undergraduate, Dep. of KANSEI Design Eng., Faculty of Eng., Yamaguchi Univ.  
 \*\*\* Doctoral Course, Graduate School of Science and Eng., Yamaguchi Univ., M. Eng.  
 \*\*\*\* Graduate School of Science and Eng., Yamaguchi Univ.  
 \*\*\*\*\* Assistant Prof., Faculty of Eng., Info. and Systems, University of Tsukuba., Dr. Eng.